



2024年6月18日

各位

会社名 株式会社ピーエス三菱
代表者名 代表取締役 森 拓也
社長執行役員
(コード番号 1871 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理本部副本部長
兼総務部長 宅野 伸二
(TEL. 03-6385-8002)

上場維持基準の適合に向けた計画について

当社は、2024年3月31日時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及び計画期間

当社の2024年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっております。流通株式比率については基準に適合しておりません。当社は、下表のとおり、今回不適合となった流通株式比率を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組みを進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
当社の適合状況 (基準日時点)	10,037人	163,503単位	163億円	34.4%
上場維持基準	800人	20,000単位	100億円	35.0%
適合状況	適合	適合	適合	不適合
計画期間	-----	-----	-----	2025年3月末

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(基本方針)

当社は、流通株式比率の上場維持基準を満たすために、企業価値の更なる向上に取り組みます。

当社の経営の基本方針である、地球環境保全のため自然資本保護を重視した事業活動に積極的に取り組むとともに、常に新しい技術開発にチャレンジし、建設事業を通じて安全で高品質な建設生産物を供給することにより持続可能な社会を実現することで、中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

その実現のため、現在取り組んでおります「中期経営計画2022」を着実に実行していくとともに、コーポレート・ガバナンスの一層の強化を図ってまいります。これらの取り組みを推進することで当社株式の流動性を高めていき、プライム市場上場維持基準への適合を図ることを基本方針としてまいります。

(課題)

当社は、2023年11月9日開催の取締役会において大成建設株式会社（以下、大成建設という）による当社株式に対する公開買付け（以下、本公開買付けという）に関して、当社を連結子会社とすることを目的とすること、及び本公開買付け成立後も引き続き当社株式の上場を維持する方針であることから、当社としては賛同の意見を表明し当社の株主が本公開買付けに応募するか否かについては株主のご判断に委ねることとしました。

また、同時に大成建設は、当社の筆頭株主（2023年9月30日時点）であったUBE三菱セメント株式会社（所有株式数：15,860,354株、所有割合：33.46%）及び当社の第2位株主（2023年9月30日時点）であった太平洋セメント株式会社（所有株式数：4,491,300株、所有割合：9.48%）との間で2023年11月9日に本公開買付けに対する応募契約を締結したことにより、両者から合計20,351,654株（所有割合：42.94%）について本公開買付けへの応募に合意されました。

なお、大成建設による当社株式の公開買付けは、当社を連結子会社とすることを目的とするものであることから、大成建設が当社を連結子会社とするため一般的に必要とされる最低限の水準として、本公開買付け成立後の所有割合が過半数となるよう、買付予定数の上限を23,790,501株（所有割合：50.20%）と設定されました。

その後、本公開買付けが2023年12月18日をもって成立し、当社は大成建設の連結子会社（50.1%）となりましたが2024年3月31日時点での上場株式数に占める主要株主所有比率は65.6%となり、流通株式比率が基準に満たない状況となっております。

(取組内容)

プライム市場の上場維持基準において流動性が乏しいと判断された事業法人及び金融機関の保有株式について売却を含めた協力を依頼することにより、流通株式比率の引き上げを行い、2025年3月末日までにプライム市場の上場維持基準への適合を図ってまいります。

以上